

平成26年第1回邑楽町議会定例会議事日程第4号

平成26年3月18日（火曜日） 午前10時開議

邑楽町議会議場

- 第 1 議案第19号 平成26年度邑楽町一般会計予算
- 第 2 議案第20号 平成26年度邑楽町国民健康保険特別会計予算
- 第 3 議案第21号 平成26年度邑楽町後期高齢者医療特別会計予算
- 第 4 議案第22号 平成26年度邑楽町介護保険特別会計予算
- 第 5 議案第23号 平成26年度邑楽町下水道事業特別会計予算
- 第 6 議案第24号 平成26年度邑楽町学校給食事業特別会計予算
- 第 7 議案第25号 平成26年度邑楽町水道事業会計予算

○出席議員（14名）

1 番	塩 井 早 苗 議員	2 番	原 義 裕 議員
3 番	松 村 潤 議員	5 番	神 谷 長 平 議員
6 番	半 田 晴 議員	7 番	坂 井 孝 次 議員
8 番	大 野 貞 夫 議員	9 番	田部井 健 二 議員
10 番	小 沢 泰 治 議員	11 番	岩 崎 律 夫 議員
12 番	小 島 幸 典 議員	13 番	立 沢 稔 夫 議員
14 番	本 間 恵 治 議員	15 番	細 谷 博 之 議員

○欠席議員（なし）

○地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名

金 子 正 一	町 長
堀 井 隆	副 町 長
大 竹 喜 代 子	教 育 長
飯 塚 勝 一	総 務 課 長
橋 本 喜 久 雄	企 画 課 長
諸 井 政 行	税 務 課 長
吉 田 紳 二	住 民 課 長
相 場 利 夫	生 活 環 境 課 長
小 島 敏 晴	保 険 年 金 課 長
河 内 登	福 祉 課 長
大 拙 一	産 業 振 興 課 長 兼 農 業 委 員 会 長 事 務 局 長
小 島 靖	都 市 建 設 課 長
半 田 実	会 計 管 理 者 長 兼 会 計 課 長
茂 木 一 夫	水 道 課 長
神 山 均	学 校 教 育 課 長
半 田 康 幸	生 涯 学 習 課 長

○職務のため議場に出席した者の職氏名

小	倉	章	利	事	務	局	長
田	部	井	春	彦	書		記

◎開議の宣告

○本間恵治議長 これより本日の会議を開きます。

議事の日程は、配付のとおりであります。

〔午前10時00分 開議〕

◎日程第1 議案第19号 平成26年度呂楽町一般会計予算

○本間恵治議長 日程第1、議案第19号 平成26年度呂楽町一般会計予算を議題とします。

これより逐条質疑に入ります。

まず、一般会計の歳入全款について質疑を行います。予算書では52ページまでです。

質疑ありませんか。

小沢泰治議員。

○10番 小沢泰治議員 済みません、ちょっと先走りました。その項になりましたらします。

○本間恵治議長 きちんと、よろしくお願いします。

それでは、質疑なしと認めます。

次に、歳出の第1款議会費、第2款総務費、第3款民生費について質疑を行います。

予算書では、53ページから112ページまでとなります。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 質疑なしと認めます。

次に、第4款衛生費、第5款労働費、第6款農林水産業費について質疑を行います。予算書では111ページから140ページまでとなります。

質疑ありませんか。

神谷長平議員。

○5番 神谷長平議員 ページ数が139、6款の農林水産業費ですけれども、8目の農業土木費なのですが、13節の委託料、15節の工事請負費、17節の公有財産購入費、22節の補償補填及び賠償費ですけれども、この事業費関係につきましては、所管の総務教育常任委員会については、詳細についてがわからないということです。これらを本来であれば、予算書に路線、それと金額、それらを明記することについてはいかがでしょうか。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 議員がご指摘をされますように、担当委員会では詳細にわたりまして説明がされるわけですが、委員会が違いますとご指摘の部分があるかと思います。今後明細にわかるような形で担当と協議をして前向きに考えていきたいと、そのように思います。

○本間恵治議長 神谷長平議員。

○5番 神谷長平議員 所管が違って町予算情報を把握する面、そういう観点からしますと、やはりそういう資料が必要かなと思いますので、ぜひお願いをしたいと思います。

○本間恵治議長 ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 質疑なしと認めます。

次に、第7款商工費、第8款土木費、第9款消防費について質疑を行います。予算書では139ページから162ページまでとなります。

質疑ありませんか。

神谷長平議員。

○5番 神谷長平議員 ページ141から142の7款の商工費で、1項の商工費で2目商工振興費ですけれども、昨年度につきましては、町のスタンプ会の補助金が計上されていましたが、今年度についてはその項目が計上されていないと、全体的な予算については前年と同額になっているのですが、これらについてなぜ今回補助金の名目がなくなったのか、確認をさせていただきたいと思います。

○本間恵治議長 大脳産業振興課長。

○大脳 一産業振興課長兼農業委員会事務局長 お答え申し上げます。

スタンプ会の関係につきましては、今まで毎年補助を行ってきたわけですが、平成26年度につきましては、事業実績等の中身を見まして、繰越金がかかりの金額があるということで、26年度につきましては補助金を計上しなかったということでございます。

以上でございます。

○本間恵治議長 神谷長平議員。

○5番 神谷長平議員 ただいま繰越金があるという形の中で今回計上されなかったということにつきましては、理解をしたいと思います。

それから、8款の土木費、2項の道路橋りょう費、149から150、それから151から152の4目の用悪水路費、これは先ほどの農林水産関係と同じですけれども、やはり事業箇所、これらを明記していただいて、全議員がわかるような形の対応をとっていただきたいということでお願いします。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 先ほどもお答えいたしましたが、そのような形で検討していきたいと、このように思います。

○本間恵治議長 神谷長平議員。

○5番 神谷長平議員 ぜひそういう形でお願いをしたいと思います。

それと、5目の橋りょう費なのですが、今年度13節で委託料439万6,000円を計上している

のですけれども、橋の安全性の確認ということで、恐らく予算計上されていると思うのですが、今年度は何橋ぐらい予定しているか、担当課長に確認をしたいと思います。

○本間恵治議長 小島都市建設課長。

○小島 靖都市建設課長 お答えします。

橋りょうとしますと25橋、そのうち大小まぜますとかなりの数ということになりますが、代表といえますか、数とすると25橋を予定しております。

○本間恵治議長 神谷長平議員。

○5番 神谷長平議員 そうすると、この25橋というのは大体町内全体の橋りょうという考え方よろしいのですか、それとも例えば県の1級河川、それらにかかっている橋の状況を確認することによろしいわけでしょうか。

○本間恵治議長 小島都市建設課長。

○小島 靖都市建設課長 そうということによろしいと思います。

○本間恵治議長 神谷長平議員。

○5番 神谷長平議員 わかりました。

それから、155ページから156ページの4項の都市計画費、2目の中の土地区画整理事業なのですが、やはりこれらも先ほどと関連があるのですけれども、委託料、工事費、それらについてはぜひお願いをしたいと思うのですが、今現在鶉の区画整理についてはどのぐらい進捗状況は進んでいるか、担当課長に確認をしたいと思います。

○本間恵治議長 小島都市建設課長。

○小島 靖都市建設課長 お答えします。

済みません、今年度の具体的な数字についてはまだ把握をしておりません。去年の整備状況として、24年度の末で面的な状況としますと34.4%の状況でございます。進捗率としますと23.3%ということで、これが25年の3月末の状況でございます。今年度につきましては、数字を確認をいたしまして、この後、報告をさせていただきたいと思います。よろしく申し上げます。

○本間恵治議長 神谷長平議員。

○5番 神谷長平議員 ぜひお願いをしたいと思います。

それから、今年度、22節の補償補填及び賠償金の中で、1億1,243万3,000円の計上等がされているのですけれども、この物件補償については何件ぐらいが予定されているのか、確認をさせていただきます。

○本間恵治議長 小島都市建設課長。

○小島 靖都市建設課長 お答えします。

建物につきましては5件を予定しております。

○本間恵治議長 神谷長平議員。

○5番 神谷長平議員 5件ということで、区画整理もかなり経過をしているわけですが、やはり一大事業ということで進捗率が大変進まない状況があるわけですが、区域の方にとっては、個人の財産が制約されてくるような状況がありますので、大変かとは思いますが、できるだけ予算をつけていただいて、早く完成するように努力をしていただきたいと思います、その辺については町長に確認をさせていただきたいと思います。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 ご意見のとおりだというふうに思っております。この計画事業につきましては、特に仮換地指定をされている地区から順次進めているわけでもあります、ここへ来まして、ただいま課長のほうから申し上げたように、家屋の移転費用というのが大変多くなってきているわけでもあります。ご指摘のように、全体の予算を見きわめながら、かなりの、この区画整理事業年数がたっておりますので、少しでも前へ進むような形で、十分協議して進めていければと、このように思います。

○本間恵治議長 ほかに質疑ありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 質疑なしと認めます。

次に、第10款教育費、第11款災害復旧費、第12款公債費、第13款諸支出金、第14款予備費について質疑を行います。予算書では163ページから238ページまでとなります。

質疑ありませんか。

小沢泰治議員。

○10番 小沢泰治議員 先ほどは大変失礼しました。208ページ、教育費の下から六、七行目ですか、中央公民館建設についての基本設計委託料、また実施設計委託料の計上について、町長にお伺いしたいと思います。

邑楽町の住民全体を見て非常に高齢化している割合が高い、そういう中で、また人口の減少という、こういう時期において、本当にこの予算について、あるいはこの大事業、約20億円にも及ぶ大事業について、邑楽町のほんの一部の公民館利用者団体の方へのアンケート、その結果によって、全町民に対する公民館ホールの建設に対する意向やアンケートをとらず、実額で言いますと約20億円にも及ぶ大事業を実行しようとしている。そのためのこの7,000万円を超える予算計上だと思いますけれども、このようなことが邑楽町の少子高齢化、人口減少ということを考えれば、私は現時点以降、町民に対する負担が非常に重くなる。また、公民館ホール、特にホールについての利用率の向上というものは図れないと思うのです。なおかつホール、公共施設については、東毛、あるいは両毛広域圏において相互利用ができるということでもありますから、ぜひこの基本設計、あるいは実施設計についての考え方の見直し、町長の方向転換、それをお願いしたいと思いますけれども、いかがでしょうか。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 中央公民館事業にかかる予算の見直しをとということですが、まず申し上げますが、先日も質問の中でいろいろお答えをいたしました。議員の皆さん、町民の皆さんのご理解をいただいて、粛々と進めさせていただきたいというふうに思います。その理由ですが、なぜアンケートをとらないか、いろいろご意見ありましたが、既にこの議会の中でも先日議長からこの件について申し入れがありましたが、そのような状況の一つ一つ踏まえる中で、やはり町民の皆さんへの生涯学習活動の醸成や、その拠点となる場所の提供ということは、これからも大変大切なことだろうというふうに思っております。高齢化、少子化というお話がありましたが、なおさらそういった方々が充実した生活を送っていくという上にも、この施設整備というのは、私は進めていくべきだし、また住民の皆さんにご協力をいただくというふうに考えております。

○本間恵治議長 小沢泰治議員。

○10番 小沢泰治議員 何年か前の公民館建設に対する町民の要望といいますか、私はそれに賛意を示してサインをしました。それはやはり邑楽町の社会教育、いろいろの事業等を考えると、そういう施設は必ずやあったほうがいいわけです。しかし、それを運営、実行するにはお金がかかります。そういう中で過日の一般質問でもお話ししましたが、やはり現有施設を有効に活用する、そういうことを考えて、箱物行政でなく、既存の施設を有効活用、それを第一と考えて、この厳しい財政の中、人口減少の中、高齢化、少子化の中、実行すべきだと思いますけれども、いかがですか。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 私も議員のご意見と同じように、既存の施設を有効活用するということは大切なことでもありますし、そのような考え方で進んでいくということがそのとおりであります。将来負担が多くなるのではないかとこの部分については、それは創意工夫する中で一つの施設整備ができる。他の施設をどのようにするかということは、さきの質問で担当課長のほうから申し上げたかと思いますが、十分費用対効果が上がるような、そのような考え方で進んでいきたいと、このように思っております。

○本間恵治議長 小沢泰治議員。

○10番 小沢泰治議員 私、常々考えているわけですが、やはり「揺りかごから墓場まで」という言葉がありますが、子育てから人生の終末期におけるやはり安心といいますか、子育ての安心、あるいは終末期の安心、それを考えてやはり行政執行はせねばならない。子供たちが二十歳になるまでの金銭的、あるいは物質的な満足度をさせてあげる、子育てをする両親が心配をしないで子供を産み、育てることができる社会をつくり、また終末期の後期高齢者、あるいは介護にお世話になる、そういう方については行政のほうがいかに支える、そういうものをつくるのが行政の仕事だと思います。

今回のこの事業については、決してそのような事業にはならないと思います。近隣各市町の施設の利用状況を見れば、利用率が低くて各自治体とも困っているわけです。そういうことを考えてみると、やはりこの予算を執行するのは間違っているというふうに私判断しております。今回のこれがもし可決されたとしても、公民館ホールに対する町民の意向、アンケートをとっていただき、事業半ばであっても方向転換をぜひすべきだと思いますけれども、いかがでしょうか。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 町民の皆さんの社会福祉向上、充実を図っていくということは、行政のみならず議員の皆さんとともに、いい町づくりをしていくということは共通課題でもあります。したがって、今の見直しということについては、先ほどお答えしたとおりでございます。

○本間恵治議長 ほかに質疑ありませんか。

大野貞夫議員。

○8番 大野貞夫議員 ページ数でいきますと186ページ、それから196ページと、この中で就学奨励事業というのが出ております。小学校、中学校、これはもちろんご承知のように就学援助費ということで、生活困窮者、この子弟に対しての援助をするということで設けられているわけですが、平成25年度の、昨年度の予算から見ますと、小学校、中学校ともに減っているのです。減額になっています。小学校でいきますと約40万円ぐらい、それから中学校でいきますと約70万円ということになっていますが、この減った理由というのはおわかりになりますか。

○本間恵治議長 神山学校教育課長。

○神山 均学校教育課長 これにつきましては、経済的な部分等がございますが、私の資料でございますが、金額的にも、特に中学校関係については、実際に対象者が卒業したり、また小学校から入学したり、そういう中で少し人数的な部分について減ってきているということでございます。特に中学校関係については、当初の見込みよりも精査した結果、このような金額で今回については計上させていただいたというような経過がございます。

以上でございます。

○本間恵治議長 大野貞夫議員。

○8番 大野貞夫議員 人数は減ったということで、こういう数字になってきたということですが、それはわかりました。それからもう一つ、これに関連して、いわゆるこの4月から消費税が8%、プラス3%ということでふえるわけですが、いわゆる生活困窮者の生活というのは、非常にますます生活が厳しくなるという中で、いわゆる就学援助費の中にはいろいろあるわけですが、修学旅行費とか通学費、クラブ活動、生徒会、PTA会費とか、学用品一般もそうなのですが、こういう中で国が定めている単価というのがあります。これが消費税増税に伴うということで、文部科学省が2013年度からふやしているのです、増額をしております。これは課長、ご承知ですか、ふやしたということについては。

○本間恵治議長 神山学校教育課長。

○神山 均学校教育課長 お答えいたします。

こちらの奨励事業関係については定額支給というようなことで、一応限度額というのが決められているわけなのですが、例えば小学校であれば、1年生については、その対象金額としては7万7,610円とか、また中学1年生ですと10万5,440円とか、そういうような金額が、一応定めたものが私どもに来ておりまして、その金額に応じて、今回についても予算を計上させていただいたという経過がございます。

以上でございます。

○本間恵治議長 大野貞夫議員。

○8番 大野貞夫議員 これ各自治体でもそれぞれ差があるわけなのですが、ほとんどのところがその就学援助費を大体据え置きしているというのが大分多いのです。ただ、生活困窮者ということになりますと、幾らかでもそれをふやしてやるということが必要なわけで、もし邑楽町としてそれがそのまま据え置いてあるのか、額がふえているのか、ちょっとわかりませんが、その辺はよく念頭に置いていただいて、もし据え置きのままであるならば、やはりその分だけはふやしてあげるというのは、国のほうでそういう政策をとっていますから、ぜひ検討していただきたいなというふうに思いますが、町長の考え方をちょっとお聞きしたいと思います。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 就学援助費等についての奨励金についてですが、今課長のほうから、その示された基準額に基づいて積算をし、支給をしているというような回答をさせていただきましたが、その基準額の中に、今議員が言われますように、文部科学省のほうで増加した部分が含まれているかどうかということを、ちょっと私自身承知しておりませんので、その辺もちょっと聞きながら、それが必要があるかどうか、当然その地域によってもこれは金額の差があると思います、都市部、あるいはこちらのような地方部ということになるとそういうこともあるだろうと思いますが、総体的にいろいろ勉強していく中で、今議員の要望事項等もかなえることができるかどうかということも含めて考えていきたいと、このように思います。

○本間恵治議長 大野貞夫議員。

○8番 大野貞夫議員 もしなっていなければ、国のほうはそういうことでふやしてきているわけですから、検討してとかなんとかでなくて、もし据え置きであれば、やはりふやすべきだというふうに私は思いますので、お願いしたいと思います。

それから、もう一つあるのですが、議長、いいですか、このまま続けて。

○本間恵治議長 はい。

○8番 大野貞夫議員 この4月から消費税が上がります。この消費税が上がるということについて、実際のこの邑楽町の予算に対して、町としてどのくらいの負担がかかってくるのかというのがわか

りましたら、町長のほうから、大体金額的にどのくらい負担がふえるのかお示しをいただければと思います。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 一般会計の全てということになりますが、26年度の歳出の中で、この消費税の課税対象経費ということがあるわけです。具体的には消耗品ですとか、大きくは工事費、備品購入費等々が入るわけでありますが、それは本当にこの概算といいますか、その見積もりであります、金額的には6,000万円ほどをこの一般会計の中で見込んでいると、そのように積算をいたしました。

○本間恵治議長 大野貞夫議員。

○8番 大野貞夫議員 大変な金額になるわけです、6,000万円。このいわゆる消費税なのですが、私たちからすると、これは本当にお金持ちから低額所得者に至るまで、全部同じ率で税金がかかってくるという点においては、最大の不公平税制だということをずっと主張してまいっているわけですが、この消費税についての考え方、基本的なところを、ぜひ町長のお考えを伺っておきたいなと思います。お願いいたします。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 今回の消費税の引き上げ目的というものが、国においては社会保障施策に要する経費を考えているというような向きでもあります。したがって、社会保障費に充当されるということが大きな狙いでもありますので、特に町としてもこういった関係の費用負担がふえているということはご承知のとおりでもあります。したがって、この5%から3%引き上げということのみで申し上げれば、その社会保障を充実をさせていくということとあわせて、社会保障費を充実ということまで言っているかどうか分かりませんが、いずれにいたしましても充てることによって、ほかの一般財源の事業を他に振り向けている、一般財源として使われるような公共事業ですとかそういうものに、この社会保障費を除いて充実をさせていくという考え方が国のほうでもあるでしょうし、私自身も、この今ご審議をいただいている予算書の中でも、社会福祉関係に占める割合が大変高くなっておりますが、そういうことを考えれば、必要最小限の消費税ということはやはり是とするというふうに考えております。

○本間恵治議長 大野貞夫議員。

○8番 大野貞夫議員 国もそうなのですが、この消費税を導入するときには必ず福祉の向上にということで、今までずっと同じようなことを言ってきました。しかし、私たちの身の回りを見たときに、果たしてその福祉が本当によくなっているのだろうかということを考えますと、あらゆる面において、私はむしろ今福祉が後退しているというふうにしか見えません。そういう点で、もちろん国のほうからやってくることで、邑楽町独自でなかなかやるということについての許容範囲というのは限られてくると思いますが、今町長みずから言われましたように、やはりこの弱者とされている人のところに目を向けて行政を行っていくということについては、口約束だけではなく

て、実際に実行していく中で、ぜひ実現をしていていただきたいなということを要望しておきまして、私のこの問題については終わります。

以上です。

○本間恵治議長 ほかに質疑ありませんか。

小島幸典議員。

○12番 小島幸典議員 10款の教育費の中の社会教育費です。206ページが社会教育費になってます。

それを飛んで、私の質問の中では208ページ、真ん中あたりに中央公民館建設事業とあります。これの中で設計者選定競技があります。その中の報酬金があります。競技報酬金、この中で180万円予算とったのですが、これ設計の競技ですから、これは初め私が一番冒頭に話した社会教育、この観点から見ますと、この競技する中で、これある意味では社会教育ですから、ひとつ町長にこれ考えをちょっと、町長の考えでは協働のまちづくりというネーミングというか、そういう中で私が言いたいのは、この競技者の選定を例えば専門学校生、それとこの設計、または物をつくるという夢のある人たち、この人たちに私の町長に提案したいのは、町民を挙げて、それで若い人、また今まで夢が果たせなかった、要するに設計業務に携わっている人、そういう人たちが全部、希望があればこの競技会に参加してもらいたい、それには町長が陣頭指揮をとって、広報等、またはインターネット等に邑楽町のこういう競技に参加してくれませんか、そうすると何があるかという、すごい町民の、若い人も含めて、この公民館の設計、要するに建築に対してすごい興味があって、いいものができる。ましてや若い人が参加することによって、いいアイデアが出てくる。

こういう、ただお金を使うだけではなくて、本当に教育、これからの社会教育に対してすごいパワーが出てくるかなと、そういうことになれば、いずれはこういう邑楽町の一つの種まきが、有名な岡本太郎とか、そういう人たちの有名な人が出てきて、税金をふるさと納税とか、そういうのにつながれば、これは10年後、15年後にすばらしい町づくりの一つの種まき、私よく言うけれども「まさかちゃん基金」とか、そういうのに転嫁できる。そういうことを含めると、町長、競技大会なので、とにかくみんなに参加してもらって、それで協働のまちづくりの一翼を担う、そういう物の考えで、この限られた資格者だけではなくて、一般の小学生も含めて、専門学校の生徒も含めて参加してもらおうと、そういう考えはどうか、町長、お答え願いたい。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 この設計業者選定の180万円の予算計上については、今議員のほうから大変貴重なご意見をいろいろいただきました。議員が言われますように、多くの皆さんに夢や希望を与える、あるいは持ってもらおうということでは、大変大切なことだというふうに思っています。しかし、この業者の選定をした後に多くの費用をお願いをしてということになりますと、根本的にきちっとした設計業者を選定をするということが非常に求められるわけです。したがって、この業者ということについてこれから議決をいただければ、担当のほうでその基準ということの中で、今インターネッ

ト等いろいろあります。そういう情報の中でこの中央公民館を建設するにふさわしいアイデアですか、提案ですとかを、そしてその中から数業者の設計業者を決めて、そしてその次に進んでいくということになるわけですので、今議員からるご意見がありました。多くの方のご意見をいただいてこの地元からというお話も伺いましたが、これは十分参考意見としてお伺いしておきたいと、このように思います。

○本間恵治議長 小島幸典議員。

○12番 小島幸典議員 町長の考えは考えで、私は一歩いい意味というか、前進的に物を考えますけれども、要は、これは税金を使うわけです。これは町長の個人的な金を使うのならば別に議会も何もかけなくたっていいと、でも町のものをつくるのだから、議会にかけなくてはならないかな。我々は議員としてのチェック機関でもあるし、最終的なお金の使い道の決定権を持っているわけですから。そういう流れの中で、やはりこの今お金を使う範囲内の中では社会教育費なのです、そうでしょう。社会教育費の中の細分化された中で競技大会をやりますよと、であれば、別に町長が設計を提案しようが、私が提案しようが、素晴らしいものは素晴らしいのです。それが選ばれれば、ちゃんとした資格のある人にやってもらえばいいのです、耐震補強とかそういうのがあるのですから。

だから、夢を目指している、夢を与えるためには、設計を一生懸命勉強をやっている、要するに専門学校生にも参加させてください。それが採用されなくたって、そういう一つの夢というか、そういういいものをまた今度見ると思うのです、専門家の。それがこの社会教育の大もとではないのですか、基本ではないのですか。

だから、生徒が、子供が設計したものを、そのまま子供に設計させるのではなくて、これは競技ですから、パラリンピックと同じです、競技なのですから。そうしたら、これ競技なんていうのは、極端に言えばなくしてしまって、選定委員というのも、選定設計の選考とかなんていうのを変えなければいけません、これは競技なのですから、あくまでも。拡大解釈して町長、もっと広い心を持って、それで社会教育に我々は貢献しましょうよ、町民のお金を使うのですから。参加費は無料ですよと、それでちゃんとみんな盛り上げて、ああ、こういう物の考え方、こういうものがあっていいのだと、それで一流の設計士にそれを委託したっていいのではないのですか。町長、その辺の物の考え方、できれば私の物の考え方よりもっと広げて、高く掲げてやってもらえれば、もっともって町民が盛り上がって、いい公民館をつくろうという意思が高まると思うのですけれども、その辺どうですか、町長。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 11回ほどの建設についての検討をしていただいて、その中で今議員が言われましたようなことも、その前の段階でいろいろ、こうすればいいのではないか、こうすればいいのではないかということは十分議論をいただくということになるわけです。その上に立ってそれぞれの設計業者で競い合って、私はこういう考え方です。私はこういうテーマでこういう公民館、施設を考え

ていますということを出していただいて、そのための競技ということですので、今議員が言われたようなことも、十分そういう中に入っている業者もあるかと思ひますし、言われますように、貴重な税金を使わせていただい行うということですから、今議員が言われたことについては、先ほども申し上げましたが、十分参考としてお伺いをしていたいと、このように思ひます。

○本間恵治議長 小島幸典議員。

○12番 小島幸典議員 この議場で私は確かに突拍子もない、今までの事例から言えば突拍子もない意見かもしれません。だけれども一歩踏み出して、新しい物の考え方で行政運営をやっていかなないと、これからどんどん、どんどんおくれていくというか、人は育たないと思ひます。だから私がここで質問したからといって、すぐにイエス、ノーとは言えないかもしれません。もう一度、まだ時間も期間もありますから、ぜひ副町長、または担当課長、それと関係する、要するに経験のある大学の教授、またそういう町づくりを一生懸命やっている人たちのコミュニケーションをとって、ぜひこの若者を参加させてもらいたい。要するに展覧会と同じです。いざつくるとなれば、町長、やはりこれは資格がなければだめなのですから、そういう人たちに要望するでしょう、大ききさとか、要するに部屋数だとかそういうのを。だからそういう中に織りまぜて、ひとつ若い人に町づくりに参加してもらう、こういうことを私は提案して私の質疑を終わらせていただきます。願ひします。

○本間恵治議長 ほかに質疑ありますか。

田部井健二議員。

○9番 田部井健二議員 今の質疑の関連という形でお聞きをしたいと思ひます。

私はこの180万円については、前回出たり引込めたりされましたけれども、そのときに中央公民館の設計をしてくれる選定業者を決めるのだと、そして基本的に7業者をコンペに参加をしていただくと、採用をされた業者についてはそれはそれということで、不採用になった6業者、この方々たちに、採用に当たって、選定に参加するに当たって大変な、設計図面を書いていただいたり、労力をおかけをすると、その6業者に対して1業者30万円ずつ報償金の支払いをすると、それでコンペで漏れた6業者、三六、十八で180万円というのが、この中身ですという説明を受けております。それと中身が変わっているのですか、そのままなのですか、まずお聞きをしたいと思ひます。

○本間恵治議長 半田生涯学習課長。

○半田康幸生涯学習課長 お答えさせていただきます。

ただいまお話に出ております設計者選定競技報償金につきましては、田部井議員のおっしゃった内容そのままでございます。前回説明したときから変わってございません。

以上です。

○本間恵治議長 田部井健二議員。

○9番 田部井健二議員 町長、紛らわしいことを言わないで、きちんと提案をされたのですからそ

ういう説明をしなさいよ。貴重な提言ありがとうございましたと。それに向かって動き出すのですか、そうではないでしょう。だとすれば、議場なのですから、はっきりわかっていることから、議員から説明があっても、この180万円については、これこれこういう考えのもとにこういうことで提案をしたのですという説明をしたほうが、私はよろしいと思います。毎回毎回そういう曖昧なことを言うから、そういうことが後々いろいろな問題に発展をするのです。わかり切っている話ではないですか、何でそういういかげんな答弁をするのですか。私ははっきりとしていることははっきりと正直に申し述べたほうがいいと思います。いかがですか。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 議員が言われるとおりでというふうに思っております。小島議員のほうのいろいろなお意見はご意見として、貴重に拝聴するというこの意味合いで申し上げたつもりですので、考え方は田部井議員が言われましたように、そのような考え方で積算をしていると、そのようにご理解いただきたいと思います。

○本間恵治議長 進行してよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

岩崎律夫議員。

〔11番 岩崎律夫議員登壇〕

○11番 岩崎律夫議員 議案第19号 平成26年度呂楽町一般会計予算に対する賛成討論を行います。

国の「平成26年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」によると、我が国の経済は、企業収益の増加から設備投資が持ち直しつつあり、雇用、所得環境が改善していくもとで、景気回復の動きが確かなものとなると見込まれております。

このような状況を受けて、本町における平成26年度の予算規模は、一般会計で82億2,500万円、前年度に比べて10.2%増の積極的予算となっており、特に投資的経費が13億5,669万円、前年度に比べ5億2,416万円、64.7%の増額となっております。

主な事業として、町道整備では例年の整備事業に加え、通学路の整備を中心として交通弱者に配慮した道づくりに、平成26年度より町道幹線5号線並びに18号線の整備に取り組む予算が計上されております。また、教育費関係では、高島幼稚園の改築事業、老朽化した長柄小学校プール改築事業、そして中央公民館建設事業の設計料等が予算計上されております。

以上のような投資的事業が予定されていますが、一方ソフト事業として、県が平成27年度よりグローバル化に対応して打ち出した英語教育改革に先駆け、今年度より外国語指導助手をこれまでの3名から6名に増員し、各小中学校に配置して、英語教育、国際理解教育の充実強化を図る予算措置もされております。

平成26年度はさまざまな新規事業に取り組まれておりますが、今後も国、県の各種補助制度を有効に活用し、特定財源の確保に努め、町民の福祉を守り、限られた財源を重点的、効率的に配分し、最少の経費で最大の効果を上げるよう要望し、また、安心安全はもとより、邑楽町で暮らす喜びが実感できる町政を強く要望し、賛成討論とさせていただきます。

○本間恵治議長 ほかに討論ありませんか。

小沢泰治議員。

〔10番 小沢泰治議員登壇〕

○10番 小沢泰治議員 10番、小沢泰治ですけれども、議案第19号 平成26年度邑楽町一般会計予算について、反対の討論をさせていただきます。

それについては、全般的には邑楽町にとって妥当かなという考えはあります。しかしながら、中央公民館ホールの建設事業については、この時期に7,398万8,000円を計上しております。大きなものが基本設計委託料、また実施設計委託料、そういうことで7,000万円以上のものを計上した。これはやはり町民を無視した事業執行であると私は考えております。

なぜならば、邑楽町の現中央公民館は非常に利用率が高いです。しかしながら、その利用者を見れば、公民館利用者団体の方々がほとんどかと思えます。邑楽町民2万7,000の皆さんが公民館を利用して、それでこの公民館がすばらしい、あるいは利用勝手が悪い、使い勝手が悪い、そういうものであればともかく、今回のこの予算計上に当たっては、やはり公民館利用団体の方々の強い要望、それはわかります。しかしながら、全町民からすればほんの一部の方々だと思います。そういうことで、この7,398万8,000円というのを計上したこのこと自体が邑楽町の人口減少、少子高齢化ということを考えたならば、今後のこの事業に対してのツケは非常に長きにわたり邑楽町にとってマイナスだと思います。

以上の観点から、本予算については反対といたします。どうぞよろしくお願いいたします。

○本間恵治議長 ほかに討論ありませんか。

大野貞夫議員。

〔8番 大野貞夫議員登壇〕

○8番 大野貞夫議員 私は今回のこの議案第19号 26年度一般会計予算に反対の立場で討論に参加をしたいと思えます。

ご承知のように、先ほど質疑の中でも申し上げましたが、今回の本予算の中には、最大の不公平税制と言われている消費税が色濃く加味をされた一つの予算の組み立てになっております。要するに、不公平税制というものがいろいろな面で言われておりますように、いわゆる高額所得者も低所得者も同じ率でもって税金がかかってくるということで、国民の多くの皆さんからこれの疑義が出されている。こういう中で今の国の安倍内閣は、強行に強行を重ねてこれを実現をするという流れになっております。その中で町としてどうするかという点においては、やはりそれなりの制約があ

りますから、よくわかる話ではありますが、やはりこういう大前提に立てば、このことをもって賛成というわけにはまいりません。理由はそれが1つであります。

それから、もう一つの理由といたしましては、いわゆる呂楽町の金子町政になってから、各種、いわゆる基金の積み立てというものが3億円、ないしは4億円という数字でもって今日まで推移をしております。非常に財政が厳しいという中で、はたから見ると、非常に基金を積み立てるということによっての指数的には健全財政ということが言われると思いますけれども、実際にこのお金は町民のお金であります。町民のお金を有効に使うということが、やはり行政に託された一つの大きな仕事であろうというふうに思います。

いろいろ、るる今まで各一般質問、各議員さんの中からもお話が出ていましたように、まだまだここには手を差し伸べなければならないという問題が非常に多くあると思います。例えば国民健康保険、これの滞納金額が実に3億2,000万円有余、そのほかに、例えばこの国保に加入をしている世帯数というのは、呂楽町では4,500と言われておりますが、そのうち軽減、いわゆる2割軽減、5割軽減、7割軽減というような措置を受けている世帯数は実に1,971世帯、これは非常に異常な状態になっております。もちろん今呂楽町の基金から言いますと、国保の基金があるわけではございませんので、一般財源から相当の金額を繰り入れしていると、これは事実として認めるわけですが、やはりこういういわゆる基金として積み立てするお金、これもある一定の額は必要だと思えますが、やはりできるだけそれを町民のために使うという、そういう思い切った発想の転換をすることによって、物事をやはり一つでもいい方向に進めていく、こういう考え方も非常に大事ではないかというふうに思います。

今年度の予算につきましては、個々にとってみれば評価をすべき問題も幾つかございます。その点は認めるわけですが、全体的な観点からいって反対という私の態度表明をしたいと思います。

以上です。

○本間恵治議長 ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 これにて討論を終結します。

これより議案第19号 平成26年度呂楽町一般会計予算について採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立多数〕

○本間恵治議長 起立多数。

よって、議案第19号は原案のとおり可決されました。

暫時休憩をします。

〔午前11時04分 休憩〕

○本間恵治議長 休憩前に引き続き会議を開きます。

〔午前 11 時 20 分 再開〕

○本間恵治議長 小島都市建設課長から発言の申し出がありましたので、これを許可します。

小島都市建設課長。

○小島 靖都市建設課長 先ほどの神谷議員の質問に対しましてお答えをいたします。

平成25年度区画整理の事業費ベースの進捗率につきましては、直近で25.2%、また面的整備率につきましては35.8%の見込みでございます。

また、5目橋りょう費のところで、25橋と回答をいたしましたが、これが全長15メートル以上の部分といいますか、15メートルのものが25橋ということで、それを中心に今年度は35橋を予定しております。訂正しておわび申し上げます。

◎日程第2 議案第20号 平成26年度呂宋町国民健康保険特別会計予算

○本間恵治議長 日程第2、議案第20号 平成26年度呂宋町国民健康保険特別会計予算を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

原義裕議員。

〔2番 原 義裕議員登壇〕

○2番 原 義裕議員 議案第20号 平成26年度呂宋町国民健康保険特別会計予算について賛成討論をいたします。

平成26年度呂宋町国民健康保険特別会計予算総額は、前年度に比べ6,171万2,000円増額の30億5,810万1,000円です。国民健康保険については、高齢者や低所得者の加入割合が高いことや高齢化の急速な進展や医療技術の高度化に伴い、医療費の増加が続いております。国民健康保険財政は依然として厳しい状況にあります。国民健康保険は、国民皆保険制度の基盤的役割を果たしており、地域医療の確保や住民の健康維持に大きく貢献しております。厳しい状況の中で、今後も予防を中心とした保健事業の充実と健康増進対策などに努力するとともに、国保税の適正な賦課徴収に努められ、一層の国保財政の健全化を図るよう期待して本予算に賛成いたします。

○本間恵治議長 ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 これにて討論を終結します。

これより議案第20号 平成26年度呂楽町国民健康保険特別会計予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立多数〕

○本間恵治議長 起立多数。

よって、議案第20号は原案のとおり可決されました。

◎日程第3 議案第21号 平成26年度呂楽町後期高齢者医療特別会計予算

○本間恵治議長 日程第3、議案第21号 平成26年度呂楽町後期高齢者医療特別会計予算を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第21号 平成26年度呂楽町後期高齢者医療特別会計予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立多数〕

○本間恵治議長 起立多数。

よって、議案第21号は原案のとおり可決されました。

◎日程第4 議案第22号 平成26年度呂楽町介護保険特別会計予算

○本間恵治議長 日程第4、議案第22号 平成26年度呂楽町介護保険特別会計予算を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

塩井早苗議員。

〔1番 塩井早苗議員登壇〕

○1 番 塩井早苗議員 議案第22号 平成26年度呂楽町介護保険特別会計予算について、賛成討論をいたします。

平成26年度の介護保険特別会計予算総額は17億7,174万4,000円で、前年度に比べ7,074万円、率にして4.2%の増となっております。第5期高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画の最終の年を迎え、高齢者数の増加とともに、介護保険認定者数、介護サービス利用者数も増加し、介護サービス給付費は毎年増加が見込まれます。

平成26年度は、第6期高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画の策定年度に当たり、高齢者の方が住みなれた地域で自立した生活を安心して送れるよう介護予防事業、また地域包括ケアシステムの構築に向け取り組むよう要望し、本案に賛成いたします。

以上です。

○本間恵治議長 これにて討論を終結します。

これより議案第22号 平成26年度呂楽町介護保険特別会計予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立多数〕

○本間恵治議長 起立多数。

よって、議案第22号は原案のとおり可決されました。

◎日程第5 議案第23号 平成26年度呂楽町下水道事業特別会計予算

○本間恵治議長 日程第5、議案第23号 平成26年度呂楽町下水道事業特別会計予算を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

半田晴議員。

〔6番 半田 晴議員登壇〕

○6番 半田 晴議員 議案第23号 平成26年度呂楽町下水道事業特別会計予算について、賛成討論を行います。

公共下水道の整備も順調に進み、新たに5ヘクタールの供用開始区域の拡大を図り、152ヘクタールとする予定であり、関係者の協力のもと排水設備接続も順調に進められております。

本年度の予算総額は3億592万9,000円で、前年度に比べ2%の減となっております。歳入については町債を減額し、歳出については経費の削減を図り、効率的な事業執行に努めていると認められます。

厳しい財政状況の中ではありますが、さらなる創意工夫を重ね、経費削減を図り、面的整備においても効率的な事業推進を図るよう期待しております。また、施行に際しては説明会を開催し、受益者のご理解、ご協力をいただき、さらに効率的な事業執行に努めるよう要望し、本案に賛成いたします。

○本間恵治議長 これにて討論を終結します。

これより議案第23号 平成26年度邑楽町下水道事業特別会計予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立多数〕

○本間恵治議長 起立多数。

よって、議案第23号は原案のとおり可決されました。

◎日程第6 議案第24号 平成26年度邑楽町学校給食事業特別会計予算

○本間恵治議長 日程第6、議案第24号 平成26年度邑楽町学校給食事業特別会計予算を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

坂井孝次議員。

〔7番 坂井孝次議員登壇〕

○7番 坂井孝次議員 議案第24号 平成26年度邑楽町学校給食事業特別会計予算について、賛成討論を行います。

平成26年度の予算総額は、2億4,882万5,000円で計上され、そのうちおよそ1億3,300万円は保護者の皆さんから大切な給食費としてお預かりするものです。

学校給食センターは、衛生管理にすぐれ、学校給食安全基準を満たした施設として整備され、多額の費用が投入されています。その目的と効果を十分発揮できる運営をお願いすることはもちろんですが、引き続き地産地消や食育の推進を図りながら、安全・安心でおいしい給食を常に子供たちに提供されるよう、事業執行に当たられることを要望します。

この8月で4年目を迎える学校給食センターは、多くの関係者に協力をいただきながら、毎日およそ3,000食の給食を順調に配食しております。この4月からは消費税が増税されますが、厳しい財政状況の中、今後も工夫をしながら効率的な事業運営を推進されるよう期待して、本案に賛成いたします。

○本間恵治議長 これにて討論を終結します。

これより議案第24号 平成26年度呂楽町学校給食事業特別会計予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立多数〕

○本間恵治議長 起立多数。

よって、議案第24号は原案のとおり可決されました。

◎日程第7 議案第25号 平成26年度呂楽町水道事業会計予算

○本間恵治議長 日程第7、議案第25号 平成26年度呂楽町水道事業会計予算を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

小沢泰治議員。

〔10番 小沢泰治議員登壇〕

○10番 小沢泰治議員 小沢泰治です。議案第25号 平成26年度呂楽町水道事業会計予算について、賛成討論を行います。

水道事業は、安全な水を常に安定して供給するとともに、町民の健康や生活に直接かかわる重要な事業であります。

収益的収支においては、呂楽町の人口の減少に伴う給水人口の減少や少子高齢化等生活形態の変動等により、水需要は年々減少している中、1,965万円ほどの利益を計上していることは、経営努力のたまものと言えます。

資本的収支においては、石綿管の改修工事や配水管の布設工事及び浄水場の設備更新工事に取り組んだ結果、不足額が生じ、留保資金等により補填を行っておりますが、これは効率的投資に努めた結果と認められます。

呂楽町の総人口の減少の中、高齢者人口の増加が続いております。ますます続きます。そのような厳しい経営環境の中ではありますが、効率的な事業執行や経費の削減に努め、安定経営に向けてさらなる努力をするよう要望し、本案に賛成いたします。

○本間恵治議長 これにて討論を終結します。

これより議案第25号 平成26年度呂楽町水道事業会計予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立全員〕

○本間恵治議長 起立全員。

よって、議案第25号は原案のとおり可決されました。

◎散会の宣告

○本間恵治議長 以上で本日の日程は終了しました。

あす19日は午前10時から本会議を開きます。

本日はこれにて散会いたします。

大変お疲れさまでした。

〔午前 1 1 時 3 8 分 散会〕